



Press Release

再生可能エネルギー出力制御の実施について

2026年3月1日

東京電力パワーグリッド株式会社

当社サービスエリア内における3月1日の電力需給見通しを精査した結果、昼間時間帯において、好天が予想され太陽光発電が高い出力となる一方、電力需要が低くなる見通しとなりました。

当社は、優先給電ルールに基づき、当社サービスエリアに接続している火力発電所の運転抑制や揚水式水力発電所の上部調整池に水をくみ上げる揚水運転による需要の創出に加えて、地域間連系線を活用した当社サービスエリア外への送電などの対策を実施してもなお、電力需要に対して供給力が上回ると判断したことから、当社サービスエリア内の電力需給バランスを維持するため、本日、再生可能エネルギー発電事業者に対して、出力制御の指示を実施いたしましたので、お知らせいたします。

本指示は、送配電等業務指針第174条に基づき行ったものです。

なお、3月1日当日の出力制御実績については、当社ホームページにて公表いたします。

[【https://www.tepco.co.jp/forecast/images/saiene_shijinaiyokon_jukyu.pdf】](https://www.tepco.co.jp/forecast/images/saiene_shijinaiyokon_jukyu.pdf)

<再生可能エネルギーの出力制御内容等>

【出力制御 当日指示内容】

再エネ出力制御期間	3月1日（日）11時00分～16時00分
最大余剰電力発生時刻	12時00分～12時30分
再エネ出力制御量	3～118万kW

【3月1日の電力需給見通し】

(万kW)

エリア需要	2,628
揚水運転	619
域外送電	0
小計	3,246
供給力	3,365
（再掲）再エネ出力	1,529

※四捨五入の関係で、合計が一致しないことがあります

<優先給電ルール>

出力制御等を行う順番

0 一般送配電事業者が調整力としてあらかじめ確保した発電設備等の出力抑制、揚水発電設備の揚水運転、需給バランス改善用の蓄電設備の充電)

1 一般送配電事業者からオンラインで調整ができない火力電源等の発電設備等(バイオマス混焼等含む)の出力抑制、揚水発電設備の揚水運転、需給バランス改善用の蓄電設備の充電)

2 長周期広域周波数調整(地域間連系線を活用しエリア外への送電)

3 バイオマス専焼電源の出力抑制(地域資源バイオマス電源を除く)

4 地域資源バイオマス電源の出力抑制*1

5 自然変動電源の出力抑制(太陽光・風力)

6 業務規程第111条(電力広域的運営推進機関の指示)に基づく措置*2

7 長期固定電源の出力抑制(原子力・水力・地熱)

*1 燃料貯蔵の困難性、技術的制約等により出力の抑制が困難な場合(緊急時は除く)は抑制対象外

*2 電力広域的運営推進機関の指示による融通

以上